

ふるさとを愛する心豊かでたくましいすがまっこの育成

美浜町 菅浜小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	8回 (のべ) 8日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	20人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	120人
その他 ()	0人

(3) 特色ある活動

テーマ「 心の教育の充実 」

具体的活動内容

【シバザクラ育苗・植え替え体験】

今年度は、昨年度に引き続き、菅浜区の景観作りに参画し、地域の方々との交流を通して「ふるさとを愛する心豊かでたくましいすがまっこ」を育成したいと考え、シバザクラの育苗や植え替え体験活動を行った。

(1) 挿し穂作業(5月22日)

田んぼの土手に咲くシバザクラの株から、新しく伸びた若い枝を切り取り、挿し芽をする作業(挿し穂作業)を、「須可麻の環境を守る会」の方から指導を受け、5月22日(日)に実施した。雨風の強いあいにくの天候となったが、菅浜区の壮年会、老人会、PTAなど大勢の方が参加して下さった。高学年児童が区の皆さんと枝を取りに行き、低学年児童がお家の方と一緒に挿し芽の作業を行った。挿し芽するのにふさわしい枝を見つけるのはなかなか難しかったが、大人の人たちから丁寧に教えていただき、楽しく作業をすることができた。



(2) 苗の管理(5月下旬～10月下旬)

毎朝、登校すると、当番に当たっている児童が水をやりに行く。やり過ぎると根腐れをしてしまうので、土の乾き具合をみながら、管理することがとても難しかった。地域や農協の方にも様子を見てもらいながら続けていった。

(3) 植え替え作業(11月3日)

大きく育った苗を、児童が稲作体験をしている「稔りの田」の土手に植えた。挿し穂作業と同様に「須可麻の環境を守る会」の方から指導を受け、老人会、壮年会、PTAの皆さんと一緒に作業を行った。草取りをした後、やせた土手に土を入れ、苗を植えた。この日は天候に恵まれ、地域の皆さんとコミュニケーションを取りながら和気藹々と作業を行うことができた。来年以降、美しい花を咲かせてくれるのを楽しみにしている。



成果と課題

自分たちが菅浜区の景観作りに関わり、美しく咲いたシバザクラを見ながら登校する中で、郷土を思う気持ちがよりいっそう育っていくものと思う。春の挿し穂作業、育苗作業(水やり等)、植え替え作業と体験する中で、区民の方とふれあい、作業の楽しさや苦労を経験することができ、児童にはとても良い経験となった。これからも、地域の方と一緒に活動しふれあう中で、心豊かな児童を育てていきたい。

